

\*\*\*\*\*  
**赤潮情報(定期赤潮調査結果)**  
 \*\*\*\*\*

鹿児島県水産技術開発センター  
 令和2年9月30日

鹿児島湾 赤潮情報 No.7

[1] 9月29日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

通常検鏡でシャットネラ マリーナが9ヶ所で最高7細胞/mL (調査定点⑪), シャットネラ オバータが2ヶ所で各1細胞/mL, ゴニオラックス ポリグラマが全調査点で最高2093細胞/mL (福山沖着色域) 確認されました。

濃縮検鏡でシャットネラ属が2ヶ所で 最高1.3細胞/mL (調査定点⑪) 確認されました。珪藻類は全域で少ない状況でした。

(2) 海況

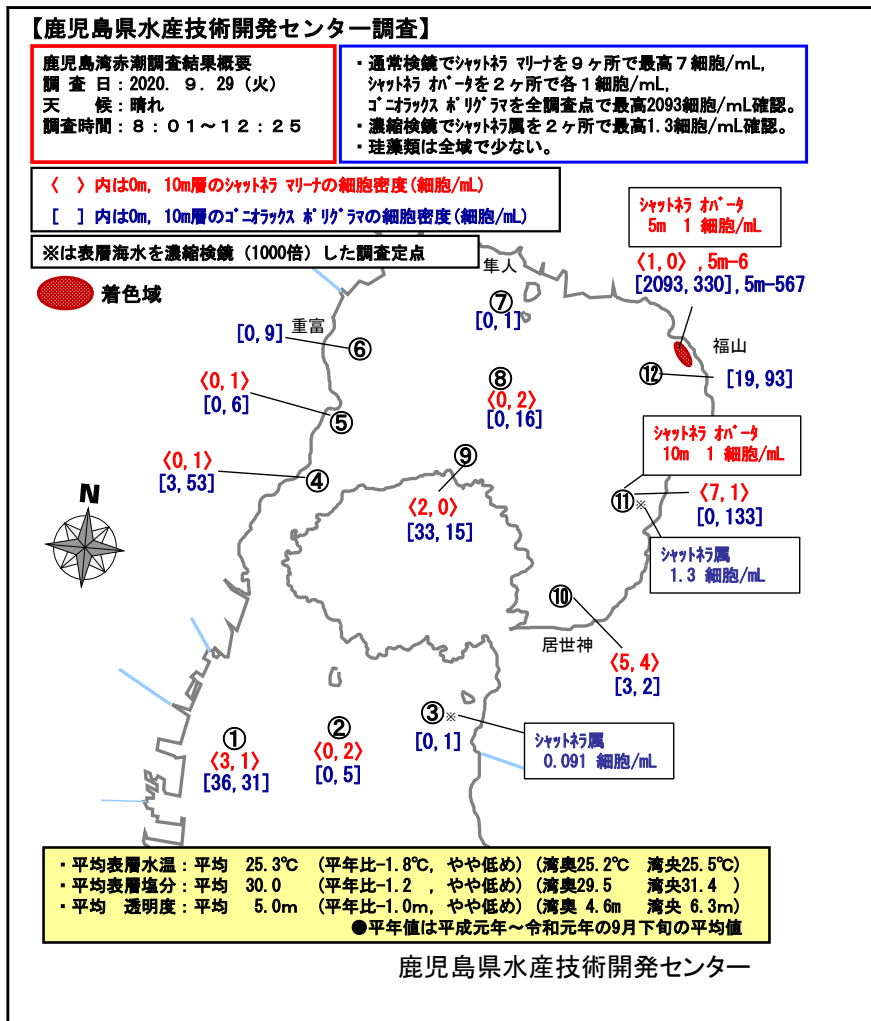
平年値と比べ、表層水温はやや低く湾奥部で24.8~25.9℃, 湾中部で25.3~25.7℃。塩分はやや低めで28.4~31.9, 透明度はやや低めで3.5~7.0mとなっています。

水温: 平均 25.3℃ 湾奥部 25.2℃ 湾中部 25.5℃

塩分: 平均 30.0 湾奥部 29.5 湾中部 31.4

透明度: 平均 5.0m 湾奥部 4.6m 湾中部 6.3m

(平年値は平成元年~令和元年の9月下旬の平均値)



[2] 今後の赤潮発生の予想

今回の調査で、有害種のシャットネラ マリーナ等が確認されています。現在、競合種である珪藻類は全域で少ない状況であり、今後の状況によっては有害種が増加する可能性があります。

また、ゴニオラックス ポリグラマは本種の死がい分解されるときに貧酸素を引き起こすことがありますので注意が必要です。

各漁協・養殖業者におかれましては、今後も有害赤潮プランクトンの早期発見のため、定期的な検鏡を継続するなど、監視をお願いします。

(次回調査は10月中旬を予定)

赤潮情報(携帯用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/i/index.shtml>

赤潮情報(PC用): <http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>

